2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・概論Ⅴ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎203
担 当 教 員	仲村剛・川村智広・岩村一成・澤卓実・林了大	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

柔道整復理論における体幹の骨折及び脱臼に関する知識及び四肢関節で特記すべき関節損傷、骨折の知識を修得し、認定実技審査や国家試験だけではなく卒業後の臨床に活用できるようになる。また、鑑別診断や医科への紹介等の知識習得も学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

定期試験課題100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)
柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)

《授業外における学習方法》

毎回の講義後，配布プリントとノートを見直しておくこと。希望があればキャリアセンター等で情報を収集することも可能である。

《履修に当たっての留意点》

国家試験出題基準にも対応するため授業内容毎の復習、教科書を熟読すること.

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩鎖関節脱臼①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各自で前学年次の総合的な振返りを行うことが必要である。
		各コマにおける授業予定	肩鎖関節上方脱臼について 分類、発生機序、症状、鑑別診断		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩鎖関節脱臼②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	振返りから、目標を選定する為に現状把握が必要である。
		各コマにおける授業予定	合併症、整復・固定法、後療法、後遺症 上方脱臼以外の脱臼について		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼(前方脱臼)①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	前学年時に履修した各科目の内容確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	発生頻度について(理由)、分類、発生機序、症状		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼(前方脱臼)②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	学年時における履修内容を踏まえて、本年時の履修内容を確認する。
		各コマにおける授業予定	合併症、整復法紹介、固定法、後遺症		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼(後方脱臼)①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	発生機序、症状、整復法固定法		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼(後方脱臼)②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	前方脱臼との外観の違いなど、その他脱臼の整復法、後遺症		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘内障①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	特徴、発生機序、症状		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘内障②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	鑑別疾患、後療法、整復法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	第(3)中手指関節脱臼①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	第1中手指節関節脱臼との相違点、局所解剖、特徴、症状		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	第(3)中手指関節脱臼②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	整復時の注意点、整復障害とロッキングフィンガーについて固定法		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ロッキングフィンガー①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	第1MP関節ロッキングフィンガー 概説、局所解剖、発生機序、症状、整復法、固定法、後療法		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	ロッキングフィンガー②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	第2～5MP関節ロッキングフィンガー 概説、局所解剖、発生機序、症状、整復法、固定法、後療法		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	指節間関節脱臼(背側脱臼①)	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	PIP関節、DIP関節の局所解剖、分類、発生機序、症状(外観含む)、整復法、固定法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	指節間関節脱臼(背側脱臼②)	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	分類、発生機序、症状(外観含む)、整復法、固定法		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	指節間関節脱臼(掌側)脱臼	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	分類、発生機序、症状(外観含む)、整復法、固定法、後療法、側方脱臼について		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・概論Ⅴ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎203
担 当 教 員	仲村剛・川村智広・岩村一成・澤卓実・林了大	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

柔道整復理論における体幹の骨折及び脱臼に関する知識及び四肢関節で特記すべき関節損傷、骨折の知識を修得し、認定実技審査や国家試験だけではなく卒業後の臨床に活用できるようになる。また、鑑別診断や医科への紹介等の知識習得も学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

定期試験課題100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)
柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)

《授業外における学習方法》

毎回の講義後，配布プリントとノートを見直しておくこと。希望があればキャリアセンター等で情報を収集することも可能である。

《履修に当たっての留意点》

国家試験出題基準にも対応するため授業内容毎の復習、教科書を熟読すること.

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩腱板損傷①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	肩関節軟部組織の局所・機能解剖、概説、腱板損傷(断裂)について 発生機序		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩腱板損傷②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	症状、他疾患との違い、鑑別疾患について		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩腱板損傷③	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	各種検査法(理論・実技)、治療法、後療法について		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	上腕二頭筋長頭腱損傷①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	局所・機能解剖について、概説、好発する年代、特徴 発生機序、分類		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	上腕二頭筋長頭腱損傷②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	症状、特徴的な外観、検査法、治療法、後療法		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	内側側副靭帯損傷1(肘関節①)	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	肘関節軟部組織の局所・機能解剖、発生機序		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	内側側副靭帯損傷1(肘関節②)	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	症状、合併症及び合併損傷、治療法、後療法、後遺症		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	槌指(マレットフィンガー①)	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	特徴、発生機序、分類		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	槌指(マレットフィンガー②)	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	症状、整復・固定法、骨片転位がある場合の整復、観血的療法について		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部骨折	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	局所解剖、骨梁構造、靭帯構造、大腿骨頭の血管支配 頚体角と前捻角、高齢者における特徴		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部内側骨折①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	旧テキストとの比較、骨折部位による分類、骨折型による分類、概説、症状、治療法		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部内側骨折②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	治療法、固定後の留意点、固定期間、治癒が困難な理由		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部外側骨折①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、発生機序、症状、治療法		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部外側骨折②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	観血的療法、固定について、転子下骨折(症状など)		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版(全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	総復習		